



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

地域にある宝を発掘し、まちづくりに結び付ける！

岸川 政之 ( きしかわ まさゆき )

百五銀行地域創生部顧問  
皇學館大学現代日本社会学部教授  
(一社)未来の大人応援プロジェクト代表理事



### ○ 登録者情報

所在地

三重県津市

## 略歴

1957年8月15日生まれ。大学卒業後、1982年多気町入庁。

税務課、教育委員会、総務課、企画課、農林商工課などを経て、2011年4月「まちの宝創造特命監」に就任。高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店(株)相可フードネット「せんぱいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。

これらの取り組みは、国土交通省ふるさと手づくり賞大賞、総務大臣優秀賞など多くの賞を受賞し、2011年5月からは「高校生レストラン」と題しテレビドラマ化もされ話題を呼んでいる。

2015年3月末で多気町を退職し、現在は

- ①(株)百五銀行地域貢献課 顧問&まちの宝創造アドバイザー  
(株)百五経済研究所 客員研究員(地域活性化担当)
- ②皇學館大学現代日本社会学部特命教授  
公共政策論、地域再生論、現代日本演習Ⅰ、産業社会演習ほか
- ③三重大学大学院地域イノベーション学研究科(博士後期課程)大学院生  
の3つのステージにチャレンジしている。

また、2013年4月に三重県立南伊勢高校で立ち上げた「南伊勢SBP(若者が中心となり地域活性化に取り組むSBP(ソーシャルビジネス・プロジェクト))」の取り組みが注目されている。

現在はそのSBPの取り組みを中心の一つにし、全国各地で「まちづくり」、「商品開発」、「生き方考え方のヒント」などをテーマにした講演やワークショップも多数開催するとともに、市町村、NPOなどのアドバイザーとしても活躍している。

《その他の役職》(参考)

- ふるさとづくり有識者会議 委員(2013. 4. 1～)
- 三重県文化審議会 委員(2013. 7. 24～2015. 7. 23)
- 総務省地域人材ネット 登録(2010年度～)
- 地域イノベーション学会 会員(2011. 7. 1～)
- その他、行政関係、学校関係などの委員、アドバイザー等多数

## 著書・論文等

「高校生レストランの奇跡」

## ○ 地域にある宝を発掘し、まちづくりに結び付ける！

### 取組の内容

◎高校生が運営する本格レストラン「まごの店」&卒業生が運営する総菜とお弁当の店(株)「せんぱいの店」を仕掛ける！！

現在の「まごの店」は2005年2月にオープンし、「多気町五桂池ふるさと村」にある三重県立相可高校食物調理科の調理実習施設として、学校が休みの土日祝日などにクラブ活動の一環として運営されている。

県内の建築を学ぶ工業高校建築科(4校)の生徒たちに店の設計コンペを依頼し、コンセプトは、『料理家を目指す高校生の夢を、建築家を目指す高校生が形にする！“その夢”を地域の大人たちが応援する！』とした。現在は、行列の出来る店として人気を呼んでおり、地域の人もこの高校生たちの頑張りに感動し、大きな勇気をもたらしている。

さらに2008年9月に、相可高校食物調理科卒業生の受け皿となる惣菜とお弁当の店、(株)相可フードネット「せんぱいの店」をオープンさせる。有機農業など“こだわり”を持った農家がアグリメイツという生産者団体を作って野菜などの提供をしてくれるほか、三重大学、多気町、地元企業などといった地域に根付いた強力な応援団がいることが特徴。

現在は、3号店が2013年8月にオープンしている。

◎「多気町まちづくり仕掛人塾」を立ち上げる！

2007年4月、町内外で活躍する人材を集め、地域を良くしようと企画、実行するプロデューサー集団を組織する。

現在26人で組織され、これまでに11のプロジェクトが立ち上がった。三重県の町おこしのモデルであるとも評価され、年1回の総会には、プロデューサーより全国からの見学者の方が多くの集まることでも有名。

2013年4月より、全国の高校生による”SBP”活動の取組を推進している。

“SBP”とは、ソーシャルビジネス・プロジェクトの略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取組み。具体的には、高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業など)、地域にあるものに触れ合い、交流し、見直し、活用して“まちづくり”とか“ビジネス”を提案していく。そしてその取組みを、行政や民間といった地域が応援し支えていこうというもの。

SBPは、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がった。今では全国に広がろうとしている。

また、その活動をしている高校の交流のため、2013年度～2015年度まで、三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」を実施してきた。

このフェアは、当初より広く全国展開を前提に開催してきたこともあり、2016年8月に発展的に進化させた「第1回全国高校生SBP交流フェア」を三重県伊勢市等で開催した。さらに第2回目(2017年度)の開催より、文部科学省の共催事業になることが決定している。

## 実績

◎「まごの店」・・・年間約2万人の集客、売り上げ総額 約4千万円  
TV、雑誌などマスコミで多数取り上げられている。  
高校卒業後の離職率 「まごの店」ができる前 約50%だったのが  
" できてから 約5%に減少

◎「まごジェル」「まごリップ」・・・相可高校生産経済科と地元万協製菓(株)とのコラボで作ったハンドジェルが全国発売され、台湾への輸出も始まった。また、(株)近江兄弟社とのコラボで、リップや日焼け止めなど高校生が考えたブランドとして全国発売されている。

◎「せんぱいの店」・・・マックスバリュ多気店(2008年9月)、ふるさと村店(2010年4月) にオープン  
売り上げ総額 2011年度実績(約8千万円)  
職員 4名 パートナー 20人 計 24人

◎「まちづくり仕掛人塾」・・・11のプロジェクトを実施(うち4つが現在進行中)

\* 現在、北海道、青森、京都、沖縄などで各種取り組みが進行中。



「まごの店」外観



「せんぱいの店」店内

## 工夫した点や苦労した点

①「ないものを探さない(あるもの探し)」、②「自分たちで考える」、③「コミュニティービジネスの手法を用いる」の考え方のもと、持続可能な取り組みに仕上げています。例えば、高校生レストラン「まごの店」は、運営費用の補助は行わず、独立採算で運営している。仕掛人塾の各プロジェクトも町からの運営補助は受けていない。「せんぱいの店」は、独立採算の究極形で株式会社として運営している。

## ひとことPR

高校生が運営するレストラン「まごの店」、その卒業生が運営する(株)相可フードネット「せんぱいの店」などが全国的に評価を得ています。2011年5月には、相可高校の取り組みを題材にした連続TVドラマ「高校生レストラン」が放映された。(私の役を伊藤英明さんが演じました。)

また、月刊「ソトコト」2010年5月号にグリーンファイターとして取り上げられました。  
楽しみながら、そして仲間作りをしながら、一緒にまちづくりを進めていきましょう。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

|   |   |              |   |    |                |
|---|---|--------------|---|----|----------------|
|   | 1 | 地域経営改革       |   | 7  | まちなか再生         |
| ○ | 2 | 地場産品発掘・ブランド化 |   | 8  | 若者自立支援         |
|   | 3 | 少子化対策        |   | 9  | 安心・安全なまちづくり    |
|   | 4 | 企業立地促進       |   | 10 | 環境保全           |
|   | 5 | 定住促進         | ○ | 11 | その他 (キャリア教育など) |
| ○ | 6 | 観光振興・交流      |   |    |                |

### 連絡先

|         |                                    |     |  |
|---------|------------------------------------|-----|--|
| メールアドレス | kishikawa2015hbku[アットマーク]gmail.com | その他 |  |
|---------|------------------------------------|-----|--|

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る